

## I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

5年目以上の職員が増えたことで、3年目以下の職員への指導ができるようになり、園の教育方針を基にした保育計画や教育の精選、実行をしやすくなった。  
教育要領の改訂に沿った教育課程の作り直しを進めていく時間を作りたい。

## II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

幼児のコミュニケーション力、問題解決力を育める指導法が浸透し初め、子どもたちの様子にもその指導効果が出始めていることが実感できるが、独りよがりにならないよう、今後も園内公開保育を行い、職員一人ひとりの課題を明確にしたい。  
他方、まだ発信の少ない子へ目が行き届きにくい。日誌に出る名前に偏りがなくみていく。

## III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

6項目の中で、一番ポイントが低かった。  
園内のことだけに終始せず、広い視野を持って物事を捉えることが大切なので、少しゆとりのできる4年目以上の職員を中心に、個々心がける。

## IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策

昨年と比較して、ポイントがかなり上がってきた項目のひとつであり、市の保健士や教育相談員の協力のおかげで保護者へ子どもの課題と援助を必要に応じて、具体的に伝える場を増やすことができた。  
しかし、伝えるまでの保護者との信頼関係作りの場と時間をもっと設けたい。

## V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策

地域の遊び場に出かけていくことは定着してきたが、地域の人との関わりという点では具体的にどんなことがあるのか話し合いたい。  
小学校との連携について、どう時間を確保できるか、今後の難しい課題である。

## VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

学年ごと、または、先輩後輩で保育を見合い、話し合いができたことがよかった。非常勤職員にも研修参加をすすめ、園全体で課題を共有できるようにしたい。  
平成21年度は教育課程の完成と指導要録の書き方の研修、遠州地区のテーマ「人と関わる気持ちを育てるには」に沿って、園内研修を進める。

## 「外部アンケート」からの検証結果及び改善策